

# ゆ う あ い 6

♥ You & I ♥

平成 29 年 3 月 22 日  
小田原市立下府中小学校  
6 年 学 年 だ よ り  
最 終 号

## ご卒業おめでとうございます

本日、第 86 回卒業式を行いました。大きく成長した子どもたちの姿を見て、心の底から嬉しく思います。さて、子どもたちの旅立ちを祝して、心に浮かぶことを書きます。

よく「無駄な仕事が多い」とか、「もっと効率を考えて」ということを言ってきました。学習や仕事を進める上で“効率”は、とても大事なことです。

それでは、子育てはどうでしょう。たしかに“効率的”に育てたいものです。しかし、相手は子ども。何回言っても理解してもらえなかったり、忙しい時に限って熱を出したりします。一生懸命育てているのに、感謝の言葉どころか文句を言われるなんてこともあります。

統計をとっているものでもなく、子どもによっても違うので何ともいえませんが、わがママを言ったり、トラブルを起こしたり、手助けが必要だったり、子どもと過ごす時間は大変なことの方が多いように思います。

“効率”という価値で見れば、子育ては価値がないように思えるかもしれませんが、しかし、子育てに価値があることは、みなさんご存じだと思います。“効率”を超える価値があるのです。

子どもたちが見せる笑顔、成長する瞬間など、大変な時間に比べると、短い時間かもしれませんが、けれども、その一瞬があるおかげで、残り的大変な時間は大変でなくなり、苦勞は苦勞でなくなります。子どもへの愛情、成長の感動は、効率を超える価値があります。

これからの子どもたちに願うことは“効率よく”学習も、仕事も進めていってほしいということ。そして、それ以上に“効率を超えるもの”を見つけてほしいということです。きっと、人生の中では辛いこと、疲れることの方が多いでしょう。ただ、ほんの一瞬でも愛情あふれる場面、感動する場面があれば、生きることは楽しいことになるのです。

長くなりますが、続けます。

よく「優しい子に育ててほしい」「思いやりのある子になってほしい」という言葉を聞きます。では、どうすれば「優しい子」「思いやりのある子」に育つのでしょうか。

答えは一つ。「人と関わること」です。

“優しさ”も“思いやり”も、相手との関わりの中で身につけるものです。これから出会う人たちの中には「いやだな」「苦手だな」と思う人もいるかもしれませんが。人付き合いが面倒くさくなることもあるでしょう。それでも、人と関わることです。人と関わる中で、悩んだり、喜んだり、苦しんだり、楽しんだりして、感情が育っていくわけです。

人と関わる中で、疲れたな、困ったなという時は、皆さんのことを無条件で愛してくれる家族、友人を頼りましょう。頼り、頼られる中でも「優しさ」「思いやり」は育まれていきます。

言葉はつきませんが、このあたりで結びの言葉とします。

卒業生の皆さん、ご家族の皆さんと出会えたことに感謝するとともに、健康と幸せを、心から願っております。

これからも、よい人生を！



2017 年 3 月 22 日  
細 江 愛 美  
宮 田 泰 範  
窪 田 友 季 子  
西 本 一 徳